

## おもいだすたび

くすのせ たけあき

青い星

ヴェロニカは

地上に咲く

青い星

ひだまりの

小宇宙に

わたしをさそう

キュウリグサは

サファイア

小惑星

ハコベ・コハコベ

多弁な

白い星

タネツケバナは

地上に流れる

天の川

青い瞳を

とりまく暗黒

ヒメオドリコソウ

カラスノエンドウ

大きく光る

赤い星

スズメノエンドウ

つつましく

身を寄せ合うは

白い星

同じソラマメ

カスマグサ

かすみがちだが

気品たたえる  
紫の紋

ピンクの  
花火を放つ  
ホトケノザ

あでやかさ  
競うは  
カキオドシ  
ムラサキゴケの  
貴婦人連合

同じ色香の唇の  
キラソウ  
あやしく輝く  
地獄の釜の蓋

燦然と  
地上に輝く太陽  
タンポポは  
やがて  
綿毛の小宇宙

地上に  
新たな太陽系を  
広げ行く

時は春

ウグイスの初音  
遠く山に聞く

ロウバイ・マンサク  
すでになく  
サンシュユと

三月を  
待ちかねたように  
サクランボ  
咲きほこるとき

メジロ

花を求めて  
花に遊ぶ

されど  
われに花を愛でるときなし

時は急ぎ足  
花を散らす風を起こし  
駆け去りゆく

四月を  
待たずに  
色づき始めた  
さくら並木は  
獅子ほゆるとき  
身を潜め

ふくらみ始めた  
つぼみは  
レンギョウ・ユキヤナギ  
したがえて  
時を待つ

みぞれまじりの  
雨にぬれ  
ヒガンザクラは  
凍え果て

遅れて来る  
コブシ・モクレンも  
すでに色はなし

されど  
桜花は  
耐えに耐え  
シベリアからの風  
おさまる時を待つ

おもいで

思い出すたび  
心が揺れる

壇上の君

見上げる僕の  
心は揺れていた

両の足を広げ  
たて笛をかまえる君に  
僕の心は憧れる

君の奏でる  
音楽は  
春のうららの隅田川

君が揺れる  
僕も揺れる

乱舞する花  
しぶきが光る  
船人が歓声あげる

桜木が語りかけ  
青柳が誘う  
桜並木を  
君と歩めば  
おぼろ月

ひとしきり  
軽やかなメロディーを  
響かせると  
何事もなかったように  
君は舞台を去る

そばかすの  
白き頬  
かすかに染めて

思い出すたび  
心が揺れる

君が呼ぶ声  
胸に響く

僕を見つめる  
君のまなざし

思い出すたび  
心が揺れる

ダイヤモンド

くさはらに

あさひあび  
きらめくダイヤ  
なごりゆき

UFO

思索にふける僕のそばを  
UFO が飛んでゆく

赤い口紅  
白い肌  
黒い瞳

微笑をたやさず  
背筋は一直線  
滑るように移動する

フレアーロングスカートが  
風を起こしたときに  
はっきりと僕は感じた

UFO は彼女の黒髪  
ふわっと膨らみ  
宙を舞う

しなやかな指が  
鍵盤のうえを舞う

乞われるままに  
たちあがり  
おもむろに

ショパンのノクターン  
それとも  
ピアノ協奏曲は  
ラフマニノフ

ともあれ

一同の拍手に  
はにかみで応え

UFO はピアノの前から  
宴の席へと  
音もなく移動する  
なにごともしなかったように

しかし  
この伝説は  
ことあるごとに  
永遠に語り継がれる

(2010年4月)